

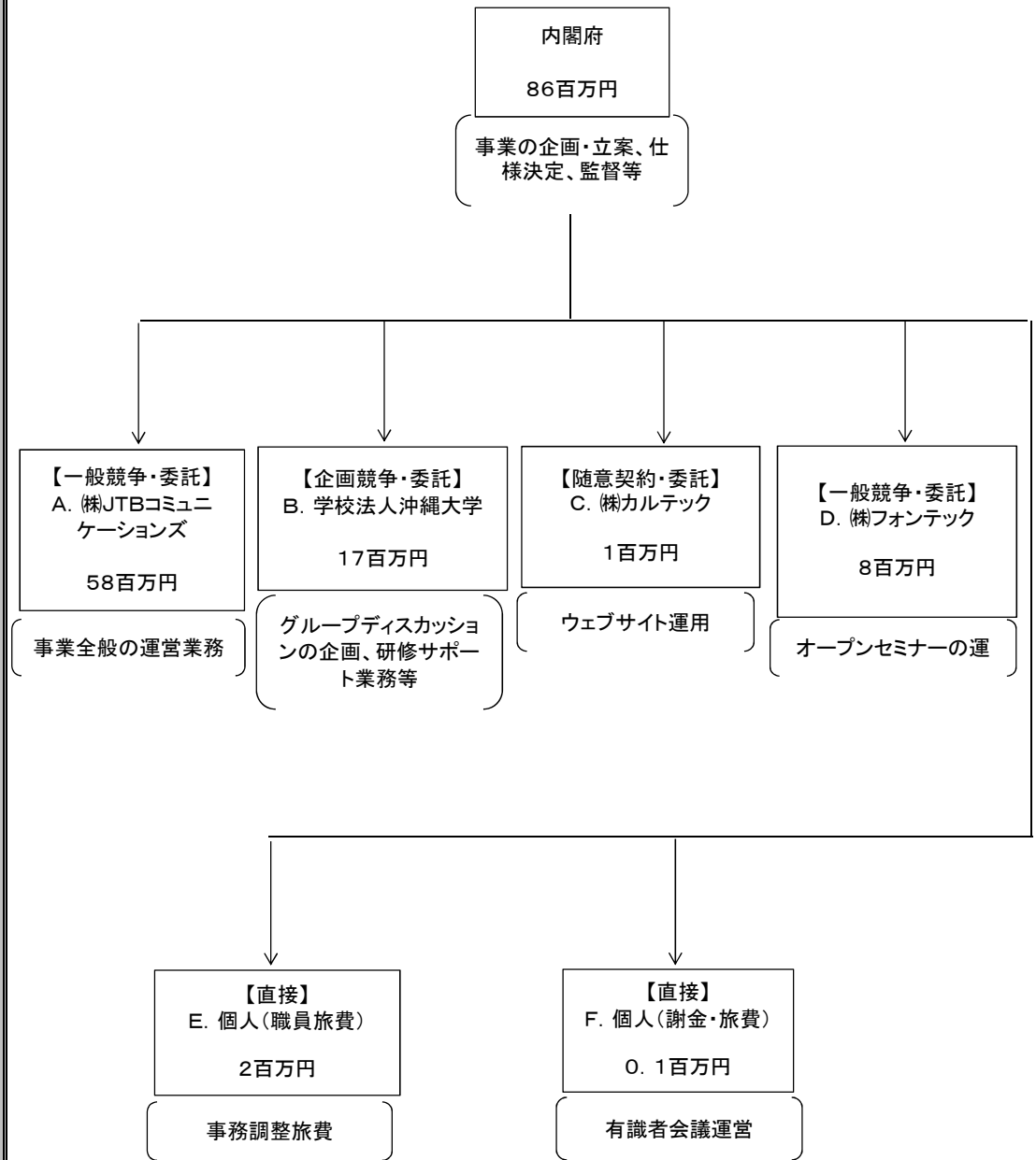
平成23年 行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	「アジア青年の家」事業		担当部局庁	内閣府政策統括官(沖縄政策担当)		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20~22年度		担当課室	企画担当参事官室		参事官 馬場竹次郎		
会計区分	一般会計		施策名	9. 沖縄政策の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	沖縄振興特別措置法		関係する計画、通知等	沖縄振興計画(平成14年7月 内閣総理大臣決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本事業は、アジア諸国等と沖縄をはじめとする国内の参加青年が、沖縄を舞台に共同生活を行い、優れた科学者や技術を目の当たりにする等の共通体験を経ることにより、我が国の青少年のイノベーションを起こす力や共生の精神を育むとともに、沖縄の将来を担う人材の育成、国際交流拠点としての沖縄の発展に資することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	8月に、アジア諸国等と沖縄をはじめとする国内の参加者が、沖縄に一堂に会し、3週間程度共同生活をする中で、①講義 ②グループディスカッション ③オープンセミナー ④ホームステイ ④体験学習 等を実施する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	147	139	142	-	-	
		補正予算	0	△53	0	-	-	
		繰越し等	0	0	0	-	-	
		計	147	86	142	-	-	
	執行額		97	80	86	-		
	執行率(%)		66%	93%	61%	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	本事業は青年の交流を行い、人材育成等を目的としているため、短期の定量的な成果指標を設定することは困難		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	-	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	参加青年人数		活動実績	人	75	77	80	-
			(当初見込み)	(75)	(75)	(80)	-	
単位当たりコスト	約1,078,130(円/人)		算出根拠	執行額(86,250,479円) / 参加青年人数(80人)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
		-						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	価格競争も導入しているため、想定していたよりも安価に収まっている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	可能な限り価格競争を導入し、競争性を高めている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	3年間の事業実施により蓄積されたノウハウを生かして、沖縄県に実施主体を引き継いだ。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>22年度も、沖縄県内・県外・アジア諸国等から青年を沖縄に集めて様々な交流を行った。参加青年をみていると、積極性・国際性の涵養が図られ、加えて、県外・海外の青年は沖縄の魅力に触れることによって、沖縄のファンが増え、沖縄振興に資する事業となったと考える。これをもって、当初の予定通り本事業は廃止をするが、23年度以降は、沖縄県に事業主体を移し、中長期的な視点に立って事業を企画・立案した後継事業を実施する。同時に、21年度行政事業レビューでも指摘を受けた「効果検証」や「フォローアップ」についても、中長期的に実施するための仕組みを構築する。</p> <p>なお、3週間のプログラム期間については、実際に本事業に参加した青年からの意見を聞きながら検討している。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>事業の効果を検証し、得られた成果を反映できるよう総合的な取組を図るべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、適正な予算の執行に努めたい。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>平成22年度行政事業レビュー公開プロセス</p> <p>評価結果:部分的な改善を要する。</p> <p>取りまとめコメント: ①中長期的な効果の検証とフォローアップをする必要。 ②海外から或いは本土から沖縄に集まって3週間行うというあり方が妥当かどうか、他の手法がないか検討する必要。</p>			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	コーディネーター、看護師、通訳等スタッフに係る人件費、宿泊費、食費等	10	職員旅費	事業期間中の職員派遣、事前調整等に要する旅費	2
交通費用	参加者の居住地～沖縄県の航空券	13			
宿泊施設借上げ	事業期間中の参加者の宿泊費用	14			
食事費用	事業期間中の参加者の食事費用	1			
その他事業費	機材費、消耗品費、報告書等	18			
その他	管理費、消費税等	2			
計		58	計		2
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	プログラムコーディネーター、ファンリレーター、チューター等	13			
その他	報告書、次年度に向けた意見交換に係る経費、消費税、管理費等	4			
計		17	計		
C.			G.		
ウェブサイト運営	ウェブサイトの運営に係る費用	1			
計		1	計		
D.			H.		
人件費	セミナー運営スタッフ、技術スタッフ	1			
事業費	広告・宣伝、機材借上げ、会場使用、備品、講師等の旅費、参加者募集業務等	8			
計		9	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	㈱JTBコミュニケーションズ	事業全般の運営	56	3	—
2	学校法人沖縄大学	グループディスカッションの企画、研修サポート業務等	17	2(企画競争)	—
3	㈱フォンテック	オープンセミナーの運営	8	12	64.7
4	㈱カルテック	ウェブサイトの運営	1	随意契約	—
5					
6					
7					
8					
9					
10					